



令和5年度 福島県立郡山支援学校 学校経営・運営ビジョン

校訓

明るく
正しく
たくましく

- 学習指導要領や第7次福島県総合教育計画、令和5年度学びの改革推進プラン、令和5年度学校教育指導の重点に基づき、肢体不自由のある児童生徒の全体的な発達の促進を図り、持てる能力を最大限に伸ばすことができるよう適切な指導及び必要な支援を行います。
- 本県の特別支援教育の理念である「地域で共に学び、共に生きる」教育の推進に向け、医療や福祉等の関係機関と連携し、「地域支援センター」における相談支援等の充実を図ります。
- 健康や安全に配慮した教育環境を整備し、児童生徒や教職員にとって Well-being が実現できる学校づくりに努めます。

郡山支援学校長 齋藤 成子

学校教育目標

一人一人のよさや可能性を広げ、「生活に生きる力」を育み、自立し社会参加できる児童生徒の育成を目指す。

重点目標

各教科等の資質・能力を育むために、言語環境を整えとともに、各教科等の特質に応じた言語活動を充実させた授業づくりを実践する。

目指す子供の姿

主体的に生きる児童生徒

- 学びの連続性を意識した授業づくりを行います。
- 「ことば」を育む授業づくりを行います。
- 自立活動の視点を大切に授業づくりを行います。

- 「郡山支援学校のキャリア教育」を基に「キャリア・パスポート」ファイルを活用し、小学部から中学部、高等部まで、段階的、系統的なキャリア教育を行います。

心豊かに生きる児童生徒

- 児童生徒の「よさ」が生きる学級づくりを行います。
- 体験的な活動を取り入れた道徳の指導を行います。
- 挨拶、モラルを中心にマナーアップ指導を行います。

- 児童生徒の「よさ」を明確にした個別の教育支援計画を作成し、保護者懇話時に活用します。

健やかに生きる児童生徒

- 生活習慣を見直し心と体を大切に保健指導を行います。
- 食事支援ガイドを活用し、安全な食指導を行います。
- 協働を意識した安心・安全な医療的ケアを実施します。

- 安心・安全な環境を整え、備えを意識した防災教育を行います。

教員同士が学び合う
校内研修の充実

ICTを活用した
学習環境の整備

地域と連携した
地域資源の有効活用

互いのよさに気付く
交流及び共同学習の推進

つなぐ・つながる
校内支援体制の整備

地域支援センターによる
相談支援の充実